

茅ヶ崎同盟教会・教会学校だより 2004 春の号

2004年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか 77 番)

神はそのひとり子をたまわったほどに、この世を愛してくださった。それはみ子をしんじるものがひとりもほろびないで、永遠(えいえん)の命をえるためである。神がみ子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、み子によって、この世がすくわれるためである。ヨハネによる福音書 3 章 16～17 節

2004年度教会学校だより春の号をお届けします。本年度はさまざまな事情により、教師の数は昨年より少ない 11 名となりました。合同礼拝としたり分級の体制を変えたりして、少ない人数ですが、この 1 年間みなさんと共に聖書を学んでいこうと考えています。さて春の号は先生紹介号です。各先生のプロフィールが詳しく描かれています。おたのしみ下さい。

〔幼・1～4年科〕

稲津悠紀 (いなづゆき)

“ユキちゃん”って呼ばれています。雪のように白い?と思ったら、昔から炭のように黒いので子どものころは“おスミちゃん”と呼ばれていました。本人はそんな外見など気にせず、ひたすら子どもたちと一緒に遊ぶのが大好きです。和奏(わかな)ちゃんという孫がいます。ですから、最近“ユキおばあさん”とも呼ばれています。子どもと遊んでいるときは、子どもになりきっています。いくつになっても子どもの世界に入っていけるひとです。子ども、動物、小さな草花が大好き、暖かな南の島が大好き、ひまわりに似て太陽が大好き、大好きなものがたくさんあって、好奇心が旺盛で、生きているのが楽しいって、そんな自然で率直な持ち味の先生です。(稲津悠紀の連れ合い・稲津五十吉 記)

加藤ちぐさ (かとうちぐさ)

うちのおかあちゃんは(ちょうちぐさ)かわいいです。高校生の時は、へいきんだいではなくて *ができたらしい。おもしろい先生で、家ではへんなことをする。言

葉をよくまちがえる。たとえば、おふろのことをおふとんとか、白いゴリラのテレビを見てたら、ママ(ママ)がにいちゃんに間違えて、さとし *ゴリラと言ったこともあった。おさいふのことをだいじだいじと言う。運動しんけいはいい。毎日じょぎんぐ*をしている。ままは、みはとようちえん*の先生。図工がとくいできよう。ジェットコースターで、はいたこともある。ままはジェットコースターはにがて。おもしろいと言っているジェットコースターもある。ままはおこるとこわい。沖縄に勉強を持ってかされた。あんごう=**はだかでおどる** ←ままのこと。今年の12月23日で41歳です。(加藤ちぐさの長女小学4年・加藤絵美 作)

※注. *ちょうとう=超の意味 ばくて=バック転 さとし=理志・中学1年のお兄ちゃん じょぎんぐ=ジョギングのこと みはとようちえん=聖鳩幼稚園 絵美ちゃんの暗号バシてますよ。

早坂美奈子 (はやさかみなこ)

ほかのひとからは、“落ち着いていて物静か”と思われがちですが(誰も思っていないか...),実は猪歳の猪突猛進¹⁾で、しょっちゅう突っ走っては壁にぶち当たり、後悔することの連続です。自転車で走りながら、大声で讚美歌を口ずさむこともあれば、『神さまごめんさない』と涙ぐむこともある。とても単純な構造の人間です。今年も一緒に神さまのことを学んでいきましょう。ご心配をおかけしました天然ボケ(先天性)は自己診断の結果完治いたしました。(早坂美奈子 記) ※注. 1) ちよとつもうしん=いのしいが突っ走るように向こう見ずに進むこと。

岩澤亜也子(いわさわあやこ)アシスタント

アシスタントに返り咲き変わらず若さにあふれるあやこちゃんも、のぞみ幼稚園の先生としてはもうベテラン。分級の補助も勘所をしっかりとおさえて子どもたちをサポートしてくれます。子どもたちも、あやこおねえさんの登場を心待ちにしています。なんせ、真祈ちゃんを除いて、おじさん、おばさん先生たちがガハハハッ!とやっていますからねー。先日、偶然にもあやこちゃんの幼き日の写真を拝見しました。“海辺の元気少女!”という今とはまた違った魅力。同盟教会の少女たちもいつかはあんなすてきなおねえさんに育ってくれるといいな...。(早坂美奈子 記)

〔5・6年科〕

森本 成 (もりもとおさむ)

㊦モウ電車の中です、朝5時半(モット遅ければ雨の日、駅まで車で送れるのに...と奥様は語る)。

㊦リーダーなのだ、CSの(リンガーとしても活躍中、ハンドベル土曜日メンバ

ーです)。

- ㊤モウ教会にいます,日曜日の朝7時半(もし大雪でも,大嵐でもきっといる)。
- ㊦トクギがたくさんあるのです(特に,音楽,スポーツ,脚本,自転車のパンク修理,時計の電池交換,人間カラオケ“憧れのハワイ航路”などなど)。
- ㊧オ～キナ声で讚美する(低音がステキ。でもCS聖歌隊では,突然低音部を歌うと,絵美ちゃんから「何?今のー!」といわれてしまいます)。
- ㊨サクラの花をめぐるひと(サクラの花と同じ位,サケもサクラ餅もめぐるひと)。
- ㊩ムカシは髪の色 チャーンと あった……と本人は語る(ムカシは昔,たとえ頭部は薄くとも,胸に秘めたる熱き信仰。字あまりながら,なかなかのケツサクか)。

今を去ること17～8年前,今年20歳になられる一粒種の響君を教会学校へ送り迎えのため教会に通われ,神さまに導かれるまま,自然に率直にクリスチャンになられ,以来,今日まで変わらない“自然体の信仰生活”を送っておられます。子どもたちからは,“もりもっち～”と慕われ,時にはいじめられ,こき使われています(みんな 本当は 尊敬しているのサ)。今年度もよりよい教会学校を目指します。お祈り下さい。(長年の相方・安田雄子 記)

安田雄子(やすだゆうこ)

やさし～安田先生は教会学校の「おかあさん」と呼ばれています。家庭では息子さんに「おかん!」と呼ばれています。猫が大好きで,猫には「おニャン,おニャン」と呼ばれています。かわいいお孫さんもいて「おばん,おばん」と呼ばれています。これまで教会学校のクリスマス教師劇で悪役を演じつづけ,「腹黒ハマシ」,「悪代官ダイクマ」,「ゴジラ・ゴリアテ」とも呼ばれています。そして,おばあちゃんからはやっと「ゆ～こ」と本名で呼ばれています。だれがつけたかニックネームは「ブタ松」です。そんな安田先生は子ども会や絵本の会やハンドベルなどで忙しい日々をすごしています。だからやせる暇もないのです。ついでに好物はおなすと和菓子だそうです。最近ワインを升々とアンケートにありました。長寿の秘訣抗酸化作用の源,ポリフェノール満載の赤ワインを升々飲み,そのあと自転車にのって町内を徘徊したという伝説の真偽やいかに。よい子のみなさんは絶対に真似をしないでくださいね。(森本 成 記)

〔中・高科〕

柏 真祈(かしわまき)

CS教師の,いや教会全体の若手ホープである。“使える真祈”を合言葉に,CS教師オバサン軍団にいいように使われている(というか,私が私物化している

かも)。イースターの壁面用聖句制作は見事な出来映えであった。優しいので、子どもたちの人気は抜群である。よって、いつでも彼女の周りには子どもがくっついていて。我が息子のチョウチョ採りにも、カップラーメンのおごりにも付き合ってくれるオネエサンなのである。お菓子づくりが趣味で、今年のバレンタインデーにはCSの子どもたちのために、チョコレートケーキを焼いてくれた（私にはケーキを焼くなんてとてもできないのに...）。真祈ちゃんは朝起きるのが苦手、それをご両親はとても心配しておられるが、私にとってはかえってホッとできて(自分の遅刻が目立たない...),大変アリガタイ！彼女は私を元気にさせてくれるひとである。主人いわく、「利口で、まじめで、かわいい真祈ちゃん」なのである。(弓桁あずさ 記)

弓桁あずさ (ゆみけたあずさ)

今年は初めてのジュニア科担当ということで不安もあったのですが、強力なパートナーがいるのでへっちゃらです。頭脳明晰²⁾,天真爛漫³⁾などの形容詞がピッタリの弓桁先生。中学生と高校生の2人の男の子のお母さんで英語の先生もしていらっしゃいます。私も中学生の頃大変お世話になりました。中高生は忙しい毎日でなかなか日曜日の朝、教会に足を運ぶのは大変だとは思いますが、弓桁先生のテンポよく進める聖書の学びはとてもわかりやすく頑張っている価値ありだと思います。また礼拝で奏楽も担当してくださっていますが、元気のお裾分けをしてもらっているのかピアノの音色につられて気付くと大きな声で讚美していることも。そんな弓桁先生と分級をご一緒するのは3年目。ただただついていこうと思っています。(柏 真祈 記)

※注.2) ずのうめいせき=考えがはっきりしていること。3) てんしんらんまん=無邪気で明るいこと。

〔成人科〕

飯田純子 (いいだすみこ)

飯田先生は何十年も教師を続けてくださっています。私はまだまだ序の口ですが横綱級です。明るくて笑顔の絶えない先生です。コメント短くてすみません。(古川盛弘 記)

純子姉は同盟教会CS一筋40ウン年。酸いも甘いも噛み分ける。断トツの経験を誇る大ベテランである。昔の事でも、今の事でもわからない事はすべて純子姉へ聞けばわかる。まちがいない!! (大木怜子 記)

大木怜子 (おおきさとこ)

同盟教会の前牧師、河村先生の娘さんです。飯田先生同様(?)美人教師です。聖書の中に記されている言葉を沢山知っていて、教えてくださる、頼りがいのある先生です。コメント短くてすみません。(古川盛弘 記)

豊かな海外経験と家庭の主婦としても、あらゆる点で新鮮な目をもって、ちょっと頭が固くなった私にとっては、よい刺激になります。お話も楽しく、お料理も上手です。成人科の先生としてかかせない存在です。(飯田純子 記)

古川盛弘 (こがわもりひろ)

少なくなった男子先生の大切な存在です。森本校長と共に唯一の(?)男の先生です。背が高く、奥様のたのもしきパートナーとして、教師としても、そこにいてくださるだけでほんと安心してます。口数は少ないけれど、決してムダ口をいわないけど、暖かい先生です。(飯田純子 記)

古川兄はどちらかという、いやかなり寡黙⁴⁾である。かしましい私たちの間にあり、とても貴重な人物だ。謹厳実直⁵⁾、気宇壮大⁶⁾、剛毅朴訥⁷⁾、隠忍自重⁸⁾、温厚篤実⁹⁾、まちがいない!! (大木怜子 記)

※注.4) かもく=言葉数がすくないこと。5) きんげんじつちやく=つつしみ深く正直なこと。6) きうそうだい=心が広いこと。7) ごうきぼくとつ=無口で意志が強いこと。8) いんにんじちよう=じつところえること。9) おんこうとくじつ=情けに厚く穏やかなこと。

〔CS聖歌隊〕

森本 成 (もりもとおさむ)

森本先生は聖歌隊の指導と毎月讃美する新しいこどもさんびかの準備をされています。毎月毎月、新しい曲をどこからもってくるのか誰も知りません。たまに大変難しいピアノ伴奏譜を渡されます。私の頭の中はどんな名曲も迷曲になってしまいます。現在、大切な、大切なたった1人のメンバー絵美ちゃんと朝8時半から練習をしています。絵美ちゃんと一緒に歌ってみたいと思う方、子どもはもちろん、ご家族、友人、知人、どなたでも大歓迎です。早起きして、是非参加してください。(奏楽担当・安田雄子 記)

安田雄子 (やすだゆうこ)

聖歌隊は礼拝前に翌月の礼拝で讃美する曲を練習しています。安田先生は朝早くから来て、ピアノ伴奏を担当しておられます。中には難しいピアノ伴奏譜もあり、前日からおさらいをしておかないと弾けない曲もあります。それで週に1回ピアノの先生からレッスンを受けています。こどもさんびか116番「鹿のように」が大好きだそうです。反対に152番「アメイジング・グレイス」の伴奏譜は転調が4回もある特別編曲版で、好きだけでも難しいと日々練習しています。今度礼拝でこの曲を讃美するとき、みんなで拍手してください。(森本 成 記)

〔フリー〕

熊谷 徹 (くまがいとおる) 牧師・熊谷麗子 (くまがきれいこ) 牧師夫人

私達には、おとなのこどもが3人いて、こどものこどもが1人います……わかるかな？私達は、よく2人で海に行き、海岸を歩きます。耳に心地よい波の音、肌に気持ちよい潮の風、目に映る空の青さと富士の麗姿……。広大な海や空を眺めていると、心が洗われるような気がします。そして、神様の偉大さとその愛の深さ広さを思い起こします。「主は、天と地と海とその中のいっさいを造ったかた」（詩篇 146:6）。教会学校の子も達が、神様の愛に包まれて、霊肉ともに健やかに育ってゆきますように！（熊谷 徹 記）

〔教会学校のこれからの予定〕

★ 6月20日父母の日礼拝 午前9時より

みなさんのお父さんやお母さんをお招きして一緒に礼拝をいたします。参加者プレゼントもあります。夏期学校のご案内もいたします。是非ご参加ください。

★ 7月24～26日夏期学校・奥多摩福音の家

JR 青梅線の古里駅から徒歩7分にある奥多摩福音の家にて本年度も夏期学校を開催いたします。幼稚科から成人までを対象として、多摩川の上流、緑豊かな山々に囲まれた静かな場所で、聖書の学びとゲームやバーベキューなどを計画しています。みなさまのご参加をお待ちしております。

○ 参考 リーベンゼラ日本宣教団「奥多摩福音の家」〒198-0105 東京都奥多摩郡奥多摩町小丹波 135 Tel 0428-85-2317
<http://www1.odn.ne.jp/ofi>

★ 8月中旬 夏休みおたのしみ会

日程は未定ですが、みんなで教会にあつまって、おもしろい工作やゲーム、そしておやつをたべて夏休みのひとときをすごします。おたのしみに。

● 編集後記

今期は教師が減り、昨年ほどに豊富な内容にはならないかと考えていましたが、集まった原稿はそれぞれに個性が出ております。用語の統一作業などがありますが、せっかくなので、なるべく手をいれないようにしました。小学校のお友だちには難しい漢字四文字熟語もありましたので、読み方と意味を注釈として付しました。今回から教会のホームページにも教会学校だよりを掲載できるように作成しました。（森本）

(May, 6th, 2004)



